

テーマ：親子で発達障がい児と共に成長する、

家庭でできるコミュニケーションのヒント

講師：長崎市障害福祉センター 作業療法士 江頭雄一氏

H29.06.01 PM19:00-20:30 ハートセンター 5階パソコン室

講師:1名 参加者:8名 NPO:5名 計:14名

【内容】



今回のテーマは、「親子で発達障がい児と共に成長する、家庭でできるコミュニケーションのヒント」と題し、長崎市障害福祉センター 作業療法士 江頭雄一氏が講師で、家庭において、親子で取り組む関わり方についてのお話を伺った。

発達障害の症状に対するおのおの、自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如多動症(ADHD)、学習症(LD)、知的障害等の説明を頂き、その中で感覚障害という言葉も大きなキーワードであるという事で、感覚統合療法が医学的と療育的側面からアプローチが大切であることも理解できた。

実際に家庭にある道具の具体的利用法などの有効性が事例も交えながら話をしていただいた。特異的症状に対してのツールの紹介も参考になった。同じく成長にあせたSST(ソーシャルスキルトレーニング)についても、その個人にあった時期や取り組みが必要であることも大切と感じた。

各々の組み合わせを取り入れることや表にあらわされず見過ごさないことが最大のポイントであると改めて感じた研修でした。

【アンケート回答】

A.内容に対する感想の割合 7/8 回答

大変参考になった2件 参考になった5件

B. 参考になった点や判りにくい点などの感想

- 発達障がい児のコミュニケーション支援。
- 感覚刺激を与えることで、対人意識を高める考え方。
- 発達障害がある子供と接する時が、時々あり、どういう事をすればいいかわからないことが多かったが、今回遊び方など学べたので実践してみたいと思う。
- 事例紹介が分かり易く、実際にやってみようと思いました。
- 事例紹介

C.現在問題抱えている問題点

- 染色体異常児とそうでない児の支援方法(Life Stageを見据えた)

D. 開催に対し、改善・希望内容

- Life Stageを見据えた総合的な支援(医療、福祉、行政、etc)
- 可能であれば、長崎大学の岩永先生。

F.NPOへ問合せ・希望など

今のまま、継続していただきたいです。

機会がありましたら、今度も参加させていただきたいです。ありがとうございました。

G.職種分野

医療 2名 福祉 4名 教育 1名

H.職種 所属・資格等

教諭 特別支援学校 1名 作業療法士 2名
介護福祉士 1名 福祉施設 事務職員 1名
ディサービス職員（児童発達支援管理者 1名）
2名

I.開催の情報の入手の媒体

チラシ・ポスター 1件 お知らせメール 1件 市報 1件 知
合い・職場 4件



J.今後の興味（複数回答あり）

1.福祉 3件（介護 1件 情報支援 1件） 医療 2件 教育 2件 就労 2件 暮らし 1件（心理 1件）

福祉情報支援セミナー事業

《福祉情報支援（e-A t c）研修会コース》